

1 開 会

2 報 告

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について | 資料1 |
| (2) 新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の発令について | 資料2 |
| (3) 県の対応（感染防止対策）について | 資料3 |
| (4) 新型コロナワクチン接種について | 資料4 |

3 その他

4 本部長指示

5 閉 会

新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

資料 1

現時点の感染状況等について、報告するもの。

1 発生状況等

(1) 国内発生数等（チャーター便帰国者を除く）（4月5日00:00現在）

PCR検査 実施者数	陽性者数	入院治療等を要する数		退院又は療 養解除者数	死亡者数	確認中
			重症者数			
947万0636	48万2871	2万3347	445	44万9835	9228	769

- ・3月中旬以降、下げ止まりから増加傾向、感染の再拡大。
- ・宮城県、大阪府、兵庫県において感染者の急増に伴い、まん延防止措置適用。
- ・首都圏の感染状況
国内の新規感染者数の3割ほどを占め、下げ止まり又は増加傾向。

(2) 東北各県発生数（4月5日00:00現在）

青森県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
1,080	6,505	301	1,038	2,604

- ・宮城県、青森県において急激に増加、他の県においても増加傾向。
- ・宮城県・福島県・青森県において、変異ウイルスの感染確認。また、仙台市において、初の変異ウイルス確認。

(3) 岩手県内発生数等
ア 発生数等

（4月5日15:00現在）

PCR検査 実施者数	陽性者数	入院治療等を要する数		退院又は療 養解除者数	死亡者数
			重症者数		
3万6380	705	113	0	562	30

- ・3月下旬から、盛岡・奥州・二戸・住田において、新規感染者が増加傾向。
- ・感染源の推察可能な、職場や濃厚接触を起点とする感染が多く見られる。

(4) 県内全般の感染状況の評価

ステージⅡ（４月５日県対策本部会議）

【参 考】

感染状況のステージを判断する指標

岩手県ＨＰ

４月５日時点

指標項目	ステージⅢ			
	国指標	現状		
医療提供体制等の負荷		使用病床数	確保病床数	
①病床のひっ迫具合				
確保病床使用率	25%	28.4%	71床	250床
最大確保病床使用率	20%	20.3%	71床	350床
確保病床使用率【重症患者】	25%	0.0%	0床	30床
最大確保病床使用率【重症患者】	20%	0.0%	0床	45床
②療養者数(対人口10万人)	15人	9.2 人		
監視体制				
③PCR陽性率(直近1週間)	10%	2.5%		
感染の状況				
④直近1週間の新規患者数(対人口10万人)	15人	7.8 人		
⑤直近1週間とその前1週間の比	1以上	4.6		
⑥感染経路不明な者の割合(直近1週間)	50%	13.5%		

※（最大）確保病床使用率は、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるために準備していた病床の使用率であること。

【参考】

感染状況の ステージの 状態	ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ	ステージⅣ
	感染者の散発的発生及び医療体制に特段の支障がない段階	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階	感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階	爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階

(5) 盛岡市の発生数等

（４月５日15:00現在）

陽性者数	入院治療等を要する数		退院又は療養解除者数	死亡者数
		重症者数		
273	60	0	197	16

・盛岡市内の教育・保育施設においてクラスターが発生し、４月５日現在、48人が陽性となっている。

2 今後の推移予測等

・年度明けの進学、就職等に伴う人の移動による感染者の増加が引き続き危惧される。
・岩手県において、変異株の感染事例が確認され、ワクチン接種前に感染拡大も予期されることから、現在の拡大防止策を徹底・継続する必要がある。

令和 3 年 4 月 1 日
新型コロナウイルス感染症
対 策 本 部 長

新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成 24 年法律第 31 号）第 31 条の 4 第 1 項の規定に基づき、下記のとおり、新型コロナウイルス感染症（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号）第 6 条第 7 項第 3 号に規定する新型コロナウイルス感染症をいう。以下同じ。）に関してまん延防止等重点措置を集中的に実施する必要がある事態が発生した旨及び次の事項を公示する。

記

（1）まん延防止等重点措置を実施すべき期間

令和 3 年 4 月 5 日から 5 月 5 日までとする。ただし、まん延防止等重点措置を実施する必要がなくなったと認められるときは、新型インフルエンザ等対策特別措置法第 31 条の 4 第 4 項の規定に基づき、速やかにまん延防止等重点措置を集中的に実施する必要がある事態が終了した旨を公示することとする。

（2）まん延防止等重点措置を実施すべき区域

宮城県、大阪府及び兵庫県の区域とする。

（3）まん延防止等重点措置の概要

新型コロナウイルス感染症については、

- ・肺炎の発生頻度が季節性インフルエンザにかかった場合に比して相当程度高いと認められること、かつ、
- ・特定の区域が属する都道府県において感染が拡大するおそれがあり、それに伴い医療提供体制・公衆衛生体制に支障が生ずるおそれがあることから、

国民の生命及び健康に著しく重大な被害を与えるおそれがあり、かつ、特定の区域において、国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある当該区域におけるまん延を防止するため、まん延防止等重点措置を集中的に実施する必要がある事態が発生したと認められる。

緊急事態措置、まん延防止等重点措置等について

(個別の都道府県の扱いについては、機械的に行うのではなく、その都度、総合的に判断)

資料2-2

ステージⅣ
爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な状態

(主な目安)

- ・病床のひっ迫具合
(最大確保病床50%)
- ・週当たり新規報告数(25人/10万人)
- ・直近週>先週

ステージⅢ
感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階

(主な目安)

- ・病床のひっ迫具合
(最大確保病床20%)
- ・週当たり新規報告数(15人/10万人)
- ・直近週>先週

ステージⅡ
感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階

緊急事態措置

= 全国かつ急速なまん延を抑えるための対応

範囲：原則、都道府県単位

講じうる措置：事業者に対し時短要請～休業要請(命令、過料(30万円))
住民に対し外出自粛要請
イベント開催制限～停止 など

6指標を総合的に評価し、**ステージⅣ相当**で宣言

6指標を総合的に評価し、**ステージⅢ相当**となる場合に解除(ステージⅡ相当以下に下がるまで必要な対策を段階的に実施)

まん延防止等重点措置

= 特定地域からのまん延を抑えるための対応

範囲：原則、区画や市町村単位

講じうる措置：事業者に対し時短要請(命令、過料(20万円))
住民に対し知事の定める区域・業態にみだりに出入りしないことの要請
イベント開催制限 など

一部地域における感染の急拡大を封じ込めることが目的であり、**ステージⅢ相当である他、感染拡大の状況を勘案**して適用

措置を実施している区域の感染状況が都道府県全域に感染を拡大させるおそれがない水準か等を踏まえて終了

一般的な要請(罰則なし)

※緊急事態措置及びまん延防止等重点措置に係る要請に伴う支援については、要請に応じたこと、要請による経営への影響の度合い等を勘案し、公平性の観点や円滑な執行等が行われることに配慮し、十分な理解を得られるようにするため、必要な支援となるよう努める。

新型コロナウイルス感染症に関する留意事項について

令和 3 年 4 月 5 日
岩手県新型コロナウイルス
感染症対策本部

1 他の都道府県等の往来

- (1) 不要不急の帰省や旅行など、まん延防止等重点措置が発令されている地域との往来は、感染拡大防止の観点から自粛をお願いします。

まん延防止等重点措置が発令されている地域

宮城県、大阪府、兵庫県

- (2) 感染が拡大している地域や外出の自粛等が要請されている地域との往来は慎重に判断するようお願いします。

感染が拡大している地域

- 直近 1 週間の新規患者数（対人口 10 万人）が、15 人以上の地域^(※1)
沖縄県、奈良県、東京都、山形県、愛媛県

外出の自粛等が要請されている地域

- 不要不急の往来や外出の自粛のお願いをしている地域^(※1)
北海道（札幌市）、山形県（山形市、寒河江市）、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、長崎県、沖縄県

※1 「感染が拡大している地域」及び「外出の自粛等が要請されている地域」

まん延防止等重点措置が発令されている地域を除く。（4 月 4 日現在の状況。岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部調べであり、県ホームページで公開していますので、移動の際は、訪問先や出発地の状況の確認をお願いします。）

2 年度初めにおける感染防止

年度初めは、人の移動や集まる機会が多くなることから、感染リスクの高まる場面に一層の注意をお願いします。

- 歓送迎会、新歓コンパ、飲食につながる謝恩会や花見及びこれに類するものは、大人数や長時間におよぶ飲食など感染リスクの高まる場面に注意

して開催すること。^(※2)

- ・ 人に接する場合、特にお年寄りに接する場合や会食を伴う場合は、感染対策に気を付けること。
- ・ 他の都道府県から岩手県に来県される際は、来県後2週間は、それまでにいた都道府県が要請している自粛等を継続すること。^(※3)

<p>※2 感染リスクの高まる場面</p> <p>飲食に当たっては、一定の人数や時間による制限をするものではありませんが、以下のような「感染リスクが高まる場面」に注意して開催いただくようお願いします。</p> <p>(1) 少人数であっても、狭小な空間や他の集団と一緒に密集した空間で行われる飲食の場面</p> <p>(2) 家庭や職場など、いつも近くにいる人以外との飲食の場面</p> <p>(3) 時間の経過に伴い、至近距離での会話や接触のリスクが高まる場面</p> <p>※3 それまでにいた都道府県が要請している自粛等の継続</p> <p>例えば、それまでにいた都道府県において、「不要不急の外出の自粛」、「会食は4人以下で」、「歓送迎会、謝恩会は控えて」等の要請が出されている場合、本県に来られた後も2週間は、引き続きその要請等を守っていただくようお願いするものです。<u>(一律に自宅待機などをお願いしているものではありません。)</u></p>

3 基本的な感染対策の徹底

家庭や職場を含むすべての場における基本的な感染対策の実施をお願いします。

特にも重症化リスクの高い方（高齢者、基礎疾患のある方等）^(※4)は一層の注意をお願いします。

家庭や職場を含むすべての場における基本的な感染対策の実施

- ・ 手洗い、常時マスク及び咳エチケットを励行する
- ・ 密閉、密集、近距離での会話や発声等を避ける
- ・ 室内の換気、湿度の調節を心がける

【県民及び岩手県来訪者】

毎日の健康確認、体調不良時は外出を避ける、受診前の電話相談、常時マスク着用、三密を伴う会合等の回避

【事業所】

健康状態・行動歴の記録

【接待を伴う飲食店の利用者と従事者】

接触情報、連絡先情報の記録

【医療機関】

積極的な検査の実施

<p>※4 重症化リスクの高い方（高齢者、基礎疾患のある方等）</p> <p>新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある方です。</p> <p>重症化のリスクとなる基礎疾患には、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満があります。</p> <p>また、妊婦や喫煙歴なども、重症化しやすいかは明らかでないものの、注意が必要とされています。</p> <p>出典：「新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識」（厚生労働省）</p>
--

4 思いやりの気持ちと冷静な行動のお願い

感染された方々やその家族などに対する差別、偏見、誹謗中傷は決して許されません。相手を思いやる気持ちを持ち、冷静に行動しましょう。

医療関係者をはじめ、県民生活に不可欠なサービスの提供に従事している皆さまに、感謝と思いやりの気持ちをもって応援してくださるようお願いします。

新型コロナワクチン接種について

1 新型コロナワクチン接種の概要

(1) 厚生労働大臣の指示

令和3年2月16日付けで、厚生労働大臣から各市区町村長あてに、予防接種法に基づき、次のとおり臨時の予防接種を実施することについて指示があった。

なお、予防接種法の規定により、住民には接種の努力義務が生じる（妊婦を除く）が、あくまで本人の同意が必要となる。接種費用は無料（国が負担）。

- ◆ **対象者** 市内に居住する16歳以上の者
- ◆ **実施期間** 令和3年2月17日から令和4年2月28日まで
- ◆ **使用ワクチン** 令和3年2月14日に薬事承認を受けたファイザー社製ワクチンに限る。

(2) 接種方法等

ア 接種順位 ※括弧内の数字は、本市における対象者見込数

- ①医療従事者等（約18,000人） ※県が対応
- ②65歳以上の高齢者（約84,000人）
 - ・令和3年度中に65歳以上に達する方（S32.4.1までに生まれた方）
- ③高齢者以外で基礎疾患のある方（約15,000人）
 - 高齢者施設の従事者（約4,000人）
 - ・一定の要件を満たす場合は、入所者と同じタイミングで接種が可能
- ④上記以外の方（約167,000人：期間内に16歳に達しない方約35,000人を含む）
 - ・ワクチン供給量等により、「60～64歳の方」を③と同じ時期に行う場合あり

イ 本市の接種方針

医療機関での「個別接種」を基本とするが、接種医療機関に地域の偏在が生じたり、スペース等の関係で自院での接種ができない場合、医療機関での接種だけでは全体の接種数に不足が生じる場合等は、公共施設等での「集団的な個別接種」（運営主体は医療機関）等について検討する。

また、高齢者施設の入所者への接種は、嘱託医等による「巡回型接種」を、訪問診療等を必要とする在宅高齢者への接種は、訪問診療を行っている医療機関による「訪問型接種」を想定している。

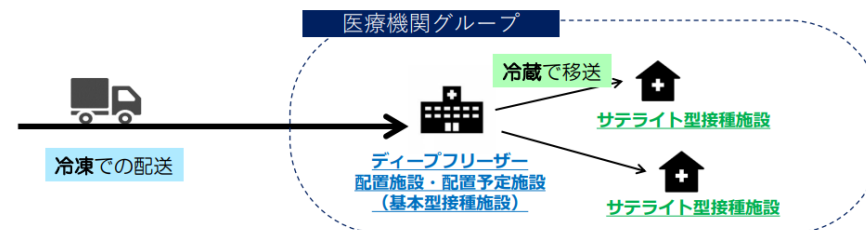
2 実施体制の構築

(1) 超低温冷凍庫（ディープフリーザー）の配備

自治体	2月	3月	4月	5月	6月	合計
盛岡市	2台 岩手医科大学附属病院 内丸メディカルセンター 盛岡市立病院	1台 八角病院	4台	6台	4台	17台

(2) 接種医療機関の調整

盛岡市医師会の協力をいただきながら、各医療機関への説明と、「基本型接種施設」（①ディープフリーザーを配備しワクチンの保管・管理を行う ②ワクチン接種を行う ③サテライト型接種施設へワクチンの分配を行う）又は「サテライト型接種施設」（基本型接種施設からワクチンの分配を受けワクチン接種を行う）としての協力依頼を行っている。



(3) 医療機関以外の接種会場の検討・調整

公共施設等での「集団的な個別接種」（運営主体は医療機関）の実施を見込み、市所管の一部施設について、令和3年5月22日から9月26日までの土・日曜日のうち、使用する可能性がある日を確保している。

なお、使用施設の偏重による施設利用者の不公平感を少しでも解消するため、同種の施設を3週間隔でローテーションすることとする。

【依頼施設】 計47施設

市立小学校（体育館）：25、公民館：3、地区活動センター：12、体育館：2、児童センター・老人福祉センター：1、地区保健センター：3、中央卸売市場

(4) 高齢者施設等での接種に向けた準備

介護保険課の協力を得て、各施設に、自施設内での接種を行うかどうかの意向確認と、接種医（嘱託医等）の調整状況について確認を行っている。

(5) ワクチンの移送に向けた準備

基本型接種施設からサテライト型接種施設へのワクチンの移送は、国補助金を活用して業者委託による移送が可能とされていることから、医療機関の負担軽減を図るため、業務委託する方向で準備を進めている。

(6) コールセンターの設置

接種会場の問合せや、電話での予約に対応するため、「盛岡市新型コロナワクチンコールセンター」を3月16日に開設（外部委託）した。

ア 電話番号 0120-220-489（フリーダイヤル）

イ 受付時間 9:00～18:00（土・日曜・祝日を含む。）

ウ 受付内容 ワクチンの接種会場や予約などに関すること。

エ 受付体制 最大21回線

オ 問合せ状況

日付	3/16～28		3/29	3/30	3/31		3月計
曜日	—		月	火	水		
件数	168		798	1,821	2,105		4,892
日付	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4月計
曜日	木	金	土	日	月	火	
件数	1,657	1,121	386	228	1,168	1,150	
						合計	10,602

【主な内容】※複数回答

・ワクチン接種全般	489件	・接種券に関すること	147件
・予約に関すること	9,299件	・接種会場に関すること	1,514件
・医学的なこと	391件	・苦情	260件

ワクチン接種に関する問合せは、国、都道府県、市町村及びワクチンメーカー等が、それぞれの役割に応じて対応することとされており、その内容や必要に応じて、担当の相談窓口を適切に紹介することとされている。

- 厚生労働省：コロナワクチン施策の在り方等に関すること
- 岩手県：医学的知見が必要となる専門的なこと
- ワクチンメーカー：ワクチンに係る個別具体的なこと

(7) 接種券（クーポン券）等の発送

高齢者へのワクチン接種に向けて、3月26日に、接種券（クーポン券）等を発送した。

ア 対象者 65歳以上の高齢者

※令和3年度中に65歳以上に達する方（S32.4.1以前に生まれた方）

イ 発送内容 接種券（クーポン券）、予約等に関する案内チラシ、予診票2枚、ファイザー社製ワクチンの説明書

ウ その他 高齢者以外の方の接種券は、6月以降の発送予定。

(8) ワクチン接種予約システム（インターネット予約システム）の準備

市が一元的に管理するシステムを採用し、LINE(※)、WEB、電話のいずれかの方法により予約を受け付ける（家族等の代行予約が可能）。

◆ワクチン供給の関係から、予約の受付開始は5月以降の予定。

◆予約の受付開始時期は、市ホームページや市施設へのポスター掲示、報道発表などでお知らせするほか、はがきで個別に通知することを検討中。

※LINEによる予約受付は、情報管理の安全性が確認されるまで使用を見合わせることにしている。

(9) 市民への周知・啓発

市長公室の協力を得て、広報もりおかや市ホームページ、市施設へのポスター掲示等のほか、市長定例会見やプレスリリースなどのパブリシティを活用し、広く周知に努めている。

3 4月のワクチン配給見込みと接種方針

(1) 盛岡市へのワクチン配給数（見込み）

・4月5日の週：1箱	最大	975回分（487.5人×2回接種）
・4月19日の週：1箱	最大	975回分（487.5人×2回接種）
・4月26日の週：1箱	最大	975回分（487.5人×2回接種）
合計：3箱		最大 2,925回分（1,462.5人×2回接種）

(2) 4月配給分の接種方針

4月中のワクチン配給数は、対象となる高齢者の総数に対して非常に限られた数量（約1.7%）であることから、4月配給分による接種は、重症化予防や院内・施設内クラスター発生の予防による医療・介護提供体制の確保を目的として、高齢者施設入所者や長期入院患者等に限定して実施する方向で、医療機関等と調整を行っている。

今後のワクチン供給量にもよるが、上記以外の一般の高齢者を対象とした接種は、早くても5月以降となる見通しである。